

2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所 東  
コード番号 3935 URL http://edia.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀島義成  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室室長 (氏名) 柏原聡 TEL 03(5210)5801  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	3,487	37.8	369	120.8	341	130.2	296	124.5
2025年2月期第3四半期	2,530	6.0	167	108.1	148	91.4	132	103.6

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 296百万円 (124.5%) 2025年2月期第3四半期 132百万円 (103.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	49.35	41.98
2025年2月期第3四半期	21.55	18.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	2,665	1,424	53.3
2025年2月期	2,997	1,371	45.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,424百万円 2025年2月期 1,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年2月期	—	0.00	—		
2026年2月期(予想)				11.00 ～13.00	11.00 ～13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	24.7	400	52.1	350	47.3	300	28.2	48.40
	～4,700	～30.3	～500	～90.2	～450	～89.4	～380	～62.3	～61.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	6,198,000株	2025年2月期	6,198,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	302,742株	2025年2月期	142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	6,007,585株	2025年2月期3Q	6,127,858株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が続いたものの、欧米の高い金利水準の継続や中国経済の停滞といった海外経済の減速が景気の下振れリスクとなっており、加えて物価上昇、人手不足による供給制約、地政学リスクの長期化、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動など、依然として景気の先行きは不透明であり、十分な注意が必要な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、2024年におけるモバイルコンテンツ関連市場は10兆4,803億円（対前年比109%）、スマートフォン市場は3兆2,458億円（対前年比111%）、モバイルコマース市場は7兆2,344億円（対前年比109%）と市場全体で年々成長を続けております。スマートフォン市場としては、ゲーム市場が1兆6,296億円（対前年比112%）、電子書籍市場が5,312億円（対前年比105%）、動画・エンターテインメント市場が5,588億円（対前年比106%）、音楽コンテンツ市場も2,170億円（対前年比107%）と前年比で増加しております（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、2025年7月現在）。

当該ゲーム市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。また、電子書籍市場においても、インターネット上の小説等をコンテンツ化するビジネスモデルに多くの競合他社が参入しており、その作品確保の競争が激化しています。さらに、動画・エンターテインメント市場及び音楽コンテンツ市場においても、消費者ニーズの多様化に伴う構造変化に晒されています。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンターテインメント企業として、エンタメIPの創出・取得とそれらのクロスメディア展開を加速させ、事業の多角化と収益力向上に注力して参りました。

当第3四半期連結会計期間のIP事業におきましては、オンラインくじサービス『くじコレ』、女性顧客向けオンラインくじサービス『まるくじ』は前連結会計年度に引き続き、人気IPとのコラボレーションを数多く行うなど積極的に展開し、当社グループの業績を牽引いたしました。また、ゲームサービスにおいては、Nintendo Switch等で当社オリジナルIPタイトルや、当社保有のレトロゲームタイトル復刻版の販売、欧米市場に向けたライセンスアウトにより、当社グループの収益に貢献いたしました。一方で、当第3四半期連結会計期間中に開催した大規模なライブイベントに関連する一時的なコストの発生がありましたが、中長期的な収益拡大に寄与するものと考えております。

出版事業におきましては、コミック作品数の増加により、紙出版・電子書籍共に売上が大きく伸び、目標どおり進捗いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は3,487,444千円（前年同期比37.8%増）、営業利益は369,534千円（前年同期比120.8%増）、経常利益は341,467千円（前年同期比130.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は296,473千円（前年同期比124.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,665,758千円となり、前連結会計年度末に比べ331,795千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は1,241,442千円となり、前連結会計年度末に比べ384,892千円の減少となりました。これは主に契約負債と借入金が増加したことによるものであります。また、純資産合計は1,424,315千円となり、前連結会計年度末に比べ53,096千円の増加となりました。これは主に自己株式の増加があったものの、当第3四半期連結累計期間が親会社株主に帰属する四半期純利益となり利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、2025年10月15日に公表した予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,927	1,383,420
売掛金及び契約資産	575,875	554,155
商品及び製品	52,651	51,720
仕掛品	141,857	130,016
原材料及び貯蔵品	51	35
前払費用	100,446	191,574
未収入金	24,799	33,736
未収消費税等	1,359	-
その他	55,414	55,353
貸倒引当金	△19,894	△19,894
流動資産合計	2,700,488	2,380,116
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,654	7,263
工具、器具及び備品（純額）	4,862	6,838
有形固定資産合計	12,516	14,101
無形固定資産		
ソフトウェア	6,545	3,076
その他無形固定資産	2,050	1,600
のれん	76,450	70,716
無形固定資産合計	85,046	75,393
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
関係会社株式	25,283	25,283
敷金及び保証金	34,010	32,979
繰延税金資産	121,414	121,414
その他	13,793	11,468
投資その他の資産合計	199,502	196,146
固定資産合計	297,065	285,641
資産合計	2,997,553	2,665,758

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,994	366,871
短期借入金	237,400	-
1年内返済予定の長期借入金	196,267	100,000
未払金	66,900	61,626
未払費用	9,933	11,854
未払法人税等	48,075	42,650
未払消費税等	39,016	34,552
契約負債	181,279	83,753
預り金	21,645	18,582
賞与引当金	11,129	23,392
情報利用料引当金	1,939	1,759
返金負債	84,322	74,468
未払配当金	179	335
その他	3	1,064
流動負債合計	1,135,087	820,911
固定負債		
長期借入金	489,637	400,000
資産除去債務	1,610	1,610
長期預り金	-	18,920
固定負債合計	491,247	420,530
負債合計	1,626,335	1,241,442
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,373	23,373
資本剰余金	741,621	741,621
利益剰余金	605,333	858,422
自己株式	△135	△200,127
株主資本合計	1,370,193	1,423,290
新株予約権	1,025	1,025
純資産合計	1,371,218	1,424,315
負債純資産合計	2,997,553	2,665,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	2,530,921	3,487,444
売上原価	1,055,107	1,400,194
売上総利益	1,475,814	2,087,249
販売費及び一般管理費	1,308,459	1,717,715
営業利益	167,355	369,534
営業外収益		
受取利息	491	6,750
為替差益	-	3,305
その他	1,072	1,159
営業外収益合計	1,564	11,215
営業外費用		
支払利息	7,201	13,626
上場関連費用	12,747	-
支払手数料	-	24,108
その他	616	1,547
営業外費用合計	20,565	39,282
経常利益	148,354	341,467
特別損失		
固定資産除却損	-	1,363
特別損失合計	-	1,363
税金等調整前四半期純利益	148,354	340,104
法人税、住民税及び事業税	16,941	43,630
法人税等還付税額	△627	-
法人税等合計	16,313	43,630
四半期純利益	132,040	296,473
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,040	296,473

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	132,040	296,473
四半期包括利益	132,040	296,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,040	296,473



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年4月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について以下のとおり決議し、自己株式を300,600株(199,991千円)取得いたしました。また、当社の従業員に対して割り当てた株式の2,000株を無償取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間において、自己株式が302,600株(199,991千円)増加しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	7,950千円	7,676千円
のれんの償却額	- "	5,733 "

(セグメント情報等の注記)

当社グループはエンタテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。